

県高校駅伝

神島女子が初優勝

12月 晴れの都大路へ

県高校駅伝競走大会が3日、日高川町の長子橋、小釜本橋周辺コースであり、女子の部で神島が初優勝した。12月22日、京都・西京極陸上競技場を発着点に開催される全国大会に出場する。

女子は5区間21・0975キで争われ、9チームが参加。

神島は1区的那須千晴選手(2年)、2区の山本明日香選手(1年)が2位でたすきをつなげ、3区の木村仁美選手(同)で先頭に立ち、4区

の寒川瑞生選手(2年)とアソカ5区の中松理恵選手(同)がリードを守り、1時間13分32秒でゴールした。

神島女子は昨年の同大会で4位に入った後、今大会の優勝を目指し、県外遠征や強豪

校との合同合宿で実力を付けてきた。

長山丞監督の話 若いチームなので全国大会を経験し、自分の力を具体的に知ることが大きな目標。県大会は昨年優勝の笠田を目標に練習し、



女子の部で優勝した神島のメンバー

全員がミスのないレースをしたのが大きな勝因だ。

男子は7区間42・195キに15チームが参加し、和歌山北が優勝した。

県大会の男女各6位までが17日に京都府京丹後市で開かれる近畿大会への出場権を獲得した。紀南関係では男子で4位に田辺、5位に田辺工業、6位に熊野が入った。